



やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長/金田 征宏 幹事/大島 嗣雄 会報委員会/中村 嘉輝・中西 弘徳 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第38回 通算1475回 平成29年4月11日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/28 修正出席率
		62名	34名	60.7%	96.4%

ゲスト：豊川市建設部 次長兼公園緑地課長 岩村彰久さん 同 公園緑地課 課長補佐 川嶋啓充さん ビジター：(なし)

★会長あいさつ

金田 征宏 会長



こんにちは。先日、浜松方面に出掛け、大河ドラマの井伊直虎のゆかりの地に行きまして。龍潭寺などのゆかりの地に行ってきました。龍潭寺は、私が幹事をした年度の春の行楽で、龍潭寺と竜ヶ岩洞に出掛けた記憶があります。その当時は、有名なお寺とは思いませんでした。龍潭寺の庭の素晴らしさは昔からですが、境内の中には井伊家のお墓もあります。境内を掃除していた方と話をしました。地元もあまり関心がなかったが、大河ドラマで放送されてから、地元の人たちが来るようになったそうです。大河ドラマの中で出てくる井戸も近くにありました。近くですので、井伊直虎に関連したゆかりの地が色々あります。大河ドラマ館もあります。皆さんもお出掛け頂ければと思います。

来週の月曜日は、当クラブがホストをする東三河分区親睦ゴルフ大会があります。実行委員長はじめ、ゴルフ同好会の皆さん、会員の皆様のご協力の程、よろしくお願いします。

★幹事報告

大島 嗣雄 幹事

例会臨時変更のお知らせ
創立30周年誌に貼る「台湾での植樹式」のシール配布について

★委員会報告

答礼人形特別実行委員会（小野副委員長）
里帰り展開催に向けた募金協力をお願い

★外部講師の卓話

講師の紹介

小野 喜明 直前会長

私が会長の時の一昨年10月20日の創立30周年記念式典の中で、山脇市長さんに豊川宝飯RCから金250万円を寄付させて頂きました。皆さんからの熱い想いを込めて、豊川市平和公園の植栽工事に使って頂きたいということで寄付をしました。豊川市からも正式に寄付金の用途が決定したという通知も参りました。

今日は、建設部の公園緑地課の方から豊川市平和公園の整備経過などについてご報告を頂きます。豊川市平和公園は、来年5月にオープニングをされる予定になっています。どうぞ、よろしくお願いします。

卓話「豊川平和公園(仮称) 整備の経緯と植栽工事の概要説明」

豊川市建設部公園緑地課 川嶋啓充氏



豊川市平和公園（仮称）（以下「平和公園」という。）の整備の経緯と植栽工事の概要説明をさせて頂きます。

よろしくお願ひします。

この豊川市平和公園を整備するに至った経緯と目的についてお話をさせて頂きます。①整備計画策定の経緯 ②全体的に整備計画

③植栽計画 ③は皆さんにとって一番大切な報告になります。

豊川海軍工廠と豊川市の関わりは、海軍の兵器を製造するところとして、昭和14年に豊川海軍工廠が開庁しました。当時は東洋一の軍事工場と言われました。昭和18年に工廠の発展により豊川市が誕生。工廠とともに成長していきました。昭和20年8月7日の空襲により、工廠は壊滅状態になり、2,500人以上の尊い命が失われるという悲しい歴史を刻みました。

豊川市は、豊川海軍工廠の空襲から50年が経過した平成7年の8月7日に、平和都市宣言をおこなっております。この宣言は、平和公園の建設の発想にも繋がりました。豊川市の平和に対する基本的な考え、強い想いを表現しています。こうした想いのもと、工廠跡地と言う現場に平和公園を開設するという事で、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えようという事が、山脇市長が掲げられた「豊川海軍工廠跡地に平和公園整備」という市長マニフェストの趣旨であり、平和公園整備の目的です。

整備計画の策定として、平成25年度、平和公園の基本構想を策定するにあたり、広く市民の意見を聞くための場を設けるため、「豊川市平和公園整備検討委員会」の設置が始まりました。豊川市平和公園の基本構想を作成するため、市民皆様のご意見をお聞きするために設置したもので、学識経験者、各種団体を代表する者、公募した市民の15名で委員会は構成されました。当時の豊川ビジョンリサーチ会長の小野喜明様にも、各種団体の代表者のお一人としてご参画をして頂いております。

この委員会の検討結果を基にしまして、「豊川市平和公園基本構想案」をとりまとめて頂きました。この構想案は、現地に残された戦時中の建物を保存し、後世に海軍工廠の歴史を伝えるための公園を整備するという平和公園の位置づけが明確なものとなりました。この考えは、具体的な整備計画の策定等において引き継ぎ、さらに今後、公園完成後の運営に当たりますが、引き継いでいきます。

基本構想は、委員会からの意見を、市として平和公園整備を進めるにあたっての課題として捉え、改めて整理を行って、基本構想としております。

平成26年5月に、「豊川市平和公園基本構

想」を公表した後に、整備計画の検討を進め、公園整備のイメージ的なものである構想を、より具体的な計画とするため、「豊川市平和公園基本計画」を策定し、平成27年2月に公表しました。

基本計画策定にあたりましては、市民の皆様からのご意見を聴く機会として、パブリックコメントを実施してご意見を募集しました。このパブリックコメントとは別に、「基本構想案」を作って頂いた整備検討委員会の元委員の皆様や豊川市議会へのご報告・ご説明の機会も設けさせて頂きご意見等を頂いております。

基本計画でまとめた、平和公園の平面図で、公園の計画地の中に残る第一火薬庫などの施設をそのままの位置で保存しています。基本構想との変更は、樹木の数と園路の配置を変更しています。この変更の理由は、基本計画の策定を進めていく段階で、既存の樹木について詳しく調査を行ったところ、雑木林のような状態で数十年も放置されていた状況でしたので、発育が悪かったり、既に枯れかけていた状態で、とても公園樹木としての活用が難しいものが多いことが分かりました。残せそうな樹木を選定した結果、このような状態になりました。園路につきましても、施設を回る人の動きを考慮して、芝生広場もなるべく広く確保するという方向で配置をし直しました。

次に、基本構想や基本計画を踏まえて、現在どのような内容で平和公園の整備を進めているかについて説明させていただきます。

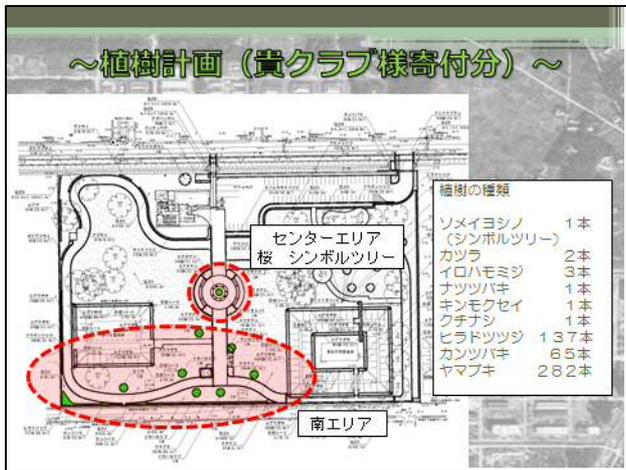
平成27年2月に「豊川市平和公園基本計画」を公表いたしました後に、具体的な設計を行い、平成28年度から工事に着手しております。平面計画図が、実際の工事発注のための設計図です。園路計画等、施設の配置につきましては、若干の修正がある程度で、ほぼ基本計画と同じ内容です。

平成28年度の整備工事の最中に、その状況を現場近くのクレーンの上から撮影したものです。



公園の整備計画のうち、豊川宝飯ロータリークラブ様から頂いた寄付に係る植樹の計画につきましてお話をさせていただきます。

植栽工平面図です。サクラやマツなどの高木、キンモクセイやツツジなどの中低木など、新たに植樹するものについて、それぞれ計画をしております。



豊川宝飯ロータリークラブ様から頂いた寄付を使わせて頂き、植樹を計画しているエリアを赤で、木を緑色で示した図です。豊川宝飯ロータリークラブ様からは、「平和公園整備事業のうち植栽工事へ」「桜の植栽を希望」ということで、250万円もの多額の寄付を頂いております。この平和公園整備事業に多大なご協力を頂きまして、大変有難く、改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

寄付を使わせていただく植栽の場所につきましては、図面の中央部の公園内のシンボリックな役割のあるセンター広場と、図面の下の方に位置します南エリアに計画させて頂いております。センター広場につきましては、本公園におけるシンボル空間となりますので、中心部にシンボルツリーとして、桜(ソメイヨシノ)を植栽します。こちらについては、公園のシンボルとなりますので、開園当初から、ある程度の大きさのあるもので、一般的な苗木よりも大きな木がいいと思っております。こちらのシンボルツリーとなる桜の植樹費用に充てさせて頂きたいと考えております。ロータリークラブ様からの寄付は、シンボルツリーの桜のほか、南エリアで、紅葉を楽しんだり、季節の移り変わりを感じられるように、高木としてイロハモミジ、ナツツバキ、キンモクセイ、カツラ、低木としてクチナシ、ヒラドツツジ、カンツバキ、ヤマブキの植樹費用に充てさせて頂くことを計画しております。

す。

センター広場・桜のシンボルツリー周辺のイメージ図であります。シンボルツリーの周囲には、ベンチを配置しまして、来園者が遺構などを眺めながら、くつろげる場所となるように整備を行います。

豊川宝飯ロータリークラブ様からの寄付をいただき、本年度で、工事の完了を予定しております。工事完了後、しばらくの間、開園準備期間を設けたのち、平成30年度の早い時期に開園を予定しております。この公園は、戦争に関わる貴重な施設を保存し、後世にその歴史を伝えていくための公園ということですが、この公園が開園することには、2つの大きな意義があると考えております。1点目として、平和を愛する心を育てることです。豊川市平和公園では、工場跡地に残る遺構の保存と活用を図り、工場跡地という場で、歴史を次の世代に正しく伝えていく必要があります。そうしたことにより、平和を愛する心を育てることに寄与していく、豊川市として、海軍工場跡地ならではの平和公園の意義があります。2点目として、パイオニア的事業であることです。行政として中立な立場で、戦争や平和について語ることの難しさもあり、行政が戦争関連の遺構を、保存・活用して公園化を図る事業は、全国的にもあまり例がありません。遺構の保存と活用の事例として、戦争の歴史を伝えて平和を問いかける公園として、そのパイオニア的事業としての意義も大きいと考えます。皆様のご協力もございまして、出来上がる平和公園でございますので、開園後は、平和公園のこのような意義も少し気にして頂きながら、足を運んで頂き、また、お知り合いの方などにも、紹介して頂ければと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

- 大木悦子会員 誕生日を祝って頂き
- 井指光基会員 〃
- 大沢茂樹会員 〃
- 水野太一会員 結婚記念日を祝って頂き
- 柴田 勝会員 事業所創業を祝って頂き
- 柴田浩志会員 〃
- 田中健司会員 入会記念日を祝って頂き

会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員